# ZOOM UP!

みやざき・りょう／1950年秋田市生まれ。慶應義塾大学中退。会社経営を経て、花苗と園芸雑貨「花と風の村to・ko・to・ko」創業。花束のような寄せ植え「プランツギャザリング」の教室を主宰。JAPAN plants gathering society 会員。JPGS本部認定講師としてギャザリング講師の指導にあたり現在に至る。

## 人生の第4コーナーを花と共に駆ける

**宮崎 良**（昭和43卒）

還暦目前それまでの会社経営から花屋のおやじへと転身。秋田では初めてのサンプルガーデンの中で花苗を売る宿根草専門店としてオープン。全くの露天なのでレジは手作りの小屋の中で。その業態の物珍しさからマスコミ各社より数々の取材をいただき、おかげさまで県内外の花好きさんたちに知っていただけるお店となりました。

そんな中、園芸雑誌でふと目にした「まるで切り花のフラワーアレンジメント」のごとく植え込まれた寄せ植え画像に衝撃を受けました。一体これはどの様に植え込まれているのか?誰が考えた技法なのか?興味のるつぼにはまり込んだのが8年前。愛知県の青木英郎先生が創案した寄せ植え技法（通称ギャザリング）と知り、早速ギャザリング修行の道に入りました。今でこそギャザリングは園芸界において新しい寄せ植え技法として認知されるまでになりましたが、当時はまだ花好きさんの間でも知っている方はまれでした。こんな画期的な素晴らしい寄せ植え技法をより多くの方々に知ってもらいたいとの思いを強くし、講師資格を取得し7年前北東北初のギャザリング教室を秋田の地で開校。また園芸イベントでのデモンストレーションやワークショップの開催を通して県内外の花好きさんたちの間で評判となり、たくさんの方々からレッスンを受講いただけるようになりましたが、よりもっと大勢の方々にギャザリング技法を広めていきたいとの思いから先生を育てる本部認定講師の資格を取得。秋田県内はもとより青森県などの当教室から巣立った30人近い講師の皆さんと共に、青木式ギャザリング技法の普及に努めております。

加齢と共に広いガーデンの管理も難しくなり、現在は秋高グラウンド後ろの交差点脇に店舗を移し、寄せ植え&ギャザリング専門店として秋高生の登下校を見守りながら、お花との関りを続けております。

RYO.TOKOTOKO

## 「動物と人との懸け橋」への道

**吉野 文**（平成30卒）

目指すのは、動物と人との懸け橋！

そんな夢を持つようになったのは、中学生時代でした。幼い頃から生き物が好きで、動物園・水族館巡りが休日の楽しみでした。生き物に触れ、知っていく中で、好きから学びたいという思いに変化していきました。

生物について学ぶ中で環境破壊などの大きな問題の解決に直接的には関われなくても、大好きな生き物のためになることがしたい―と思い、たくさんの動物と実際に触れ合いながら学び続けることができる飼育員の仕事に興味を持っていきました。そして去年、目標を達成し地元の大森山動物園で飼育員になることができました。

私が子供の頃に見ていた飼育員は、動物と語り合っているように見えました。それはまさに「動物と人との懸け橋」でした。

憧れの職業について1年が経ちますが、飼育員になれたとは言え「動物と人との懸け橋」への道は険しいと感じています。

毎日の飼育業務は基本中の基本であり、その他に毎日起こる動物の変化に気付き、素早く、正しい判断をしなければ動物の生き生きとした姿を来園者に見てもらうことはできません。判断するためには、勉強と経験から得た知識と技術が必須です。自分だけではどうしようもないことが多い中で、知識と経験が豊富な先輩方についていくことに必死な飼育員1年目を過ごしました。

飼育員の仕事は動物を飼育するだけではありません。来園者にいかに楽しんでもらうか、どんな学びを提供するのか毎日考えて工夫します。動物の目線だけではなく来園者の目線も持って仕事をする、広い視野がとても大切です。広い視野は意識しなければ持てないものだと毎日強く感じています。

1年目の私には足りないものだらけで、うまくいかないこともたくさんあります。仕事でうまくいかないとき、ヒントをくれるのは高校時代に出会った尊敬できる友人たちです。自分の将来や受験などいろいろな不安を抱えながらも同じ時間を楽しく過ごした友人たちは話しているだけで活力をくれる存在です。社会人になった今も職業は違えど、悩みを相談し合い、お互いに励まし合える存在がいることはとても幸せなことだと改めて感じています。

飼育員1年目は悩むことも多かったけれど自分に必要なものに気付けた1年になりました。2年目以降も支えてくれる人たちに感謝しながら、貪欲に学んでいこうと思っています。

よしの・あや／1999年秋田市生まれ。三重大学生物資源学部卒。2022年 秋田市大森山動物園～あきぎん オモリンの森～動物専門員となる。